

ニ比シ相違ノ出炭減少ニ移リタルモ其ノ後工人暴徒並ニ定請工作
ニ懸命ノ努力ヲ傾倒シタル結果十一月末日現在在籍二三四二二
人ヲ示シ出炭好調ヲ持運シ下期出炭予定ハ之ヲ確保シ得ル見込ナ
リ

設備概要
イ 採坑設備
スルモ他ハ全部懸置機トシ機ヲ使
用ス頭身及

堅坑深サ一〇〇米及一八〇米ノ深坑ニ本西礦三本大礦三本計八
本ヲ有シ内二本ハ電氣送揚機ヲ使用大瀧礦ニ架サ各々三〇〇米ノ
堅坑一本開鑿中ニシテ大瀧礦分ハ殆ント完成シ天々五〇〇KW電氣
送揚機ヲ設置予定ナリ

排水設備
排水量約一四〇立方呎毎時ニシテ五十馬力以上ノ唧直十五台ヲ
有シ電氣唧直、蒸氣唧直ヲ併用シツツアルモ次第ニ電化ス
ル予定ナリ

送氣設備
西礦及大瀧ニ天々二二五馬力主要扇風機各一台ノ設備ヲ有ス
ニ空箱送氣設備

五十馬力以上ノ送氣壓機十台ノ設備ヲ有ス
蒸氣動力設備

ラシヤンヤシヤン汽機七台計八二〇KW電機三台計三六〇KW
ノ設備ヲ有シ送揚機、揚揚機、排水等ノ他動力用トシテ使用中ナリ
ニ六千KW電機用トシテ四〇電汽機二基増付準備中ナリ

送電設備
大瀧電機所一、〇〇〇KW 下瀧第一電機所三、〇〇〇KW 一台天々
導中ニシテ更ニ下瀧第二電機所一、六〇〇KW 二台建設中ニシテ
運轉開始ノ予定ナリ 宿注文中ノ六、〇〇〇KW 送電機一台近ク入荷
ノ予定ナリ

工場設備
旋盤十三台外一連リノ設備ヲ有スルモ種々充分ナラス 逐次工作機械
類ノ増強ヲ計リツツアリ

水道設備
給水能力一日約二、〇〇〇立方メートルモ猶不足ヲ來シツツアルヲ
以テ之カ強化ヲ計畫シツツアリ

大瀧礦
大瀧礦

最近ノ生産高積ハ左ノ如クナリ

昭和十七年 三四、〇〇〇屯

十八年 二五、一〇〇屯

本年産日産ハ二七、〇〇〇屯ニシテ目標遂行可能ナリ

設備概要

変電機 一八八KV 変電機 一台

二〇〇〇〇 一台

三〇〇〇〇 一台

五〇馬力 変電機 二台

三〇〇〇 一台

二五〇〇 一台

二五〇〇 一台

其ノ他

油庫 油庫ニシテハ現在ノ所現地事柄不詳ニシテ當地官ヨリ調

査察ヲ派遣シ調査セシムル予定ニアリ從ツテ之カ供給見込ハ予

測シ難シ推現在迄ニ判明セル結ハ

推定埋藏量 一、一〇〇、〇〇〇トン

二十年産供給予定 三、〇〇〇トン

品位 四二 一五一%

シリカ 五五 一二二、八%

其ノ他諸成分 年六〇屯(六〇%)ヲ産出セル七操業小規

模ニシテ特筆スヘキモノナシ尚柳泉炭礦、徳州、礬灰石、雲母

等採行セル七中支務管手續中ニシテ徳州方面ハ北支側ニ於テ生

産ヲ増産ス

一般ニ該山所在地ハ偏鄙ナル英地ニシテ周邊ノ敵誼ハ備ノ間

隙ヲ伺ヒ發露ヲ企圖スル等業ヲ許ササルモノアリ各々其ノ業

務ノ實ニ正シ善導工作ニ盡シテ發露ノ確保ニ努力スルモ尙各正

共努力不足ノ状態ニアリ

第七項 製鐵事業概況

事業概況

一日 鐵馬鞍山製鐵所

沿車

馬鞍山製鐵所ハ日本製鐵株式會社カ帝國政府ノ企圖シタル新製鐵
緊急増産方策ノ一部トシテ中支方面ニ於ケル小型熔鐵炉ノ設置

か

工 作 設 備				給 排 水 設 備			
製 鐵 機	鑄 造 機	受 油 機	仕 上 工 場	原 水 揚 送 ホ ン プ	江 岸 揚 水 ホ ン プ	假 設 過 池	第 二 貯 水 地
				四 二 五 立 米	一 〇 分	三 〇 〇 屯 白	一 五 〇 〇 〇 立 米
一	一	一			三	一	四
"	"	"			台	"	基

か

REEL No. A-0552

0364

アジア歴史資料センター

日治安及警備状況
 戦局ノ進展ニ伴ヒ敵艦ノ活動、敵機空襲ノ企圖モ屢々ナルモ警備部隊及社側ノ警戒ニ依リ現在迄特記事故ノ發生ヲ見ス
 現在警備人ヲ日入六八名華人一一二名、裝備兵器若干
 四 操業現況
 (1) 昭和十九年度各爐月別生産量

爐別	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
一 高爐	三三二	四四〇	四八〇	六八〇	六三〇								二一五〇
二	一九三	三三〇	三〇九	二二									七六一
三	一六		六六	三〇	四八	一五							三三九
四	一一			二四									一三五
五	一四五	三七〇	三五四	三二									八〇一
六	二四	二八	六三			二八〇	三五	五二					一四三四
七				六八									六八
計	七二	一四四	一七二	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一五三三

備 考 操業開始以來吹入作業不償レ、コークスノ品質不良等ニ依リ
 爐況不調ナリシモ現在ニ於テハ作業法向上セルト少量ナルモ
 良質上海瓦新コークス使用ニ依リ十一月ニ於テハ操業高爐二
 基ニ對シ一日一爐平均二〇噸ト好調ヲ示シアリ
 (2) 銑鐵現在量
 十一月末 爐前現在量 一、五三〇 噸 一五四
 江岸 三、三九五 噸 四〇六

- 其ノ他製鐵業
- 中華製鐵
 - 設備 二〇 噸爐 一基 (浦東) 操業中
- 亞細亞製鐵
 - 設備 一〇 噸爐 二基 操業中
- 白中山製鐵
 - 設備 二〇 噸爐 一基 休止中

第八卷 華北米穀統制概況

一、主要米穀產物買付機構並ニ收買狀況

(1) 米買付機構

地城ヲ三ニ分チ治安良好ナル地城ニ於テハ米統會ヲシテ買付
 セシメ其ノ他ノ地城ニ在リテハ各英國ヲシテ買付セシムルモ
 ノト連絡部指導ノ下ニ中國軍等ヲシテ買付セシムルモノトニ
 分ツ
 連絡部指導地城ニ於テ收買セル米ハ中國軍軍需ニ引宛テ兵團
 ノ收買セルモノハ日本軍軍需ニ引宛テ米統會ノ收買セルモノ
 ハ日本軍、中國軍、重要産業勞務者、華人及邦人民需ニ引宛
 テル豫定ナリ
 華人米商ノミガ指定商トセシアル地城ハ米統會地城ニテリテ
 ハ蘇北地區及南京地區、連絡部地城ニ在リテハ蘇北地區ニシ
 テ華人日人共指定商トセラレアル地城ハ江蘇地區、江地區、
 蕪湖地區ノ米統會地城及津浦線地區ノ連絡部地城ナリ
 米統會地城ニ在リテハ連絡部ガ中心トナリ日華諸關係機關ト



連携ヲトリツツ收買ヲ指導シツツアリ
 (2) 收買状況(米統會地區一月三〇日現在)
 契約 六七、八七三噸
 納入 一四、二七八、

〔二〕麥

(1) 買付準備

前年三引麥粉麥統制委員會ノ指導ノ下三日華指定收買照ラ
 シテ買付セシメツツアリ

(2) 收買状況(一月三〇日現在契約高)

小麥	一六三、九三六噸
大麥	二七、四六一噸
裸麥	六、一八八噸

契約高へ殆ント全部納入確實ナリ
 收買計畫量ハ小麥四〇五千噸、大麥、裸麥三八千噸ニシテ收
 買成績不振ナルハ儲備券現札不足ニ依リ七月及八月收買不能
 ナリシト市場ガ急激ナル値トリヲナセルニ依ル
 (3) 工場整備

中支ノ石炭逼迫シ七月以降製粉工場ハ全ク送電停止セラレ僅
 ニ九月軍麥ヲ換碎スル爲ニト海工場ノ送電セラレタル状況
 ニアリタリ、依ツテ最モ技術優秀ナル工場ノも操業セシムル
 コトトシ現有能力ノ四〇%ヲ操業休止セシメ十月中旬ヨリ運
 轉行ヒ良好ノ成果ヲ擧ケツツアリ

〔三〕花

(1) 買付準備

一般地區ニ於ケル收買ハ昨年同様棉業統制委員會ノ指導ノ下
 ニ委託棉商(日華)ニ當テシムルモ治安不良ノ數地區ハ軍ニ
 委託シテ收買ヲ實施ス

(2) 收買状況(一月末日)

契約 五二、〇〇〇噸

收買計畫量ハ標示セズ能フ限り多量トスルモ一應ノ日課ヲ一
 ○〇噸トシ諸種ノ施策ヲ取リツツアリ

日下收買最盛期ニシテ著々收買ヲ進メツツアリ

〔四〕油

(1) 收買機構

昨年ニ引續キ油糧統制委員會（各種糧食）ヲシテ收買ノ指導ニ
ニ當ラシム

(2) 收買状況

油脂原料	九二、〇〇〇屯
アルコール原料	四、五〇〇
其他雜穀	一八、五〇〇
油 脂	六、五〇〇

重熟チアルコール原料及油脂（油脂原料）ニ當キ對日運送指
示及現地軍自活用數量ノ確保ニ努力シアリ

三、食糧供給状況

本年屯米統制地區ノ米ノ收買確定量ハ五十四萬七千噸ナルニ收買
進歩ハ前記ノ如ク小麥亦前記ノ如シ、上海ノ民食米ハ主トシテ軍
ノ拂下米ニ依存シ來リ八月及九月ノ華人市民ノ一人當リ配給量ハ
一ヶ月米四〇八斤ナリシモ十月十一月ハ三一二斤ニ低下シ、海米
價ハ一般物價ノ騰勢ト歩調ヲ同フシ六月ニ市石不足ナリシガ十二月十五日ニ不足ニ
達シ、本年度ハ食糧ノ軍需要求量ノ増大及アルコール原料トシテノ要求ノ新ナル出現ニ
依リ食糧專情ヲ極力收買促進ニ努メ、アルコールド食糧專情ノ推移ハ深甚ナル決意ヲ
與ス、小麥ノ收買モ既述ノ如ク不振ニシテ本年度對華地輸出計畫量ハ四百萬袋ナルモ今
日ノデ未タ全然輸出シテラス



第九項 勞務事情概況

一 重點産業勞務者確保

戰時勞務ノ確保及調整ニ付五ノ施策ヲ實施シアリ

(一) 共通指令勞務等臨時調整規則(三月)ヲ公布シ重點産業部門ノ

邦人從業者ノ退職及平和産業部門ヘノ邦人ノ就職ヲ許可制トシ

重點配置ヲ圖ル

(二) 中文主要産業七十三社ヲシテ十八種ノ勞務協力會ヲ組織ヤシメ

之ニ就業ノ華人勞務者(約二十二萬人)ニ生必需品ノ配給ヲ行

フ

(三) 現地中等學校及國民學校新規卒業者ニ付指令ヲ以テ自由就職ヲ

制限シ制當制トセリ(一月)

(四) 現地中等學校生徒ノ勤勞ヲ行ヒ増船等ノ超重點産業方面ニ勤勞

ヤシメアリ

二 非常時勞務対策

空襲等非常時態ニ際シ華人逃亡シ善業ノ運行ニ支障アル場合ヲ豫

定シ之カ萬全ヲ圖ルタメ公共事業等重要施設ヲ促進スルト共

ニ要員確保ノタメ邦人ニ付一定期間技術教育又ハ訓練ヲ實施シア

三 邦人勤勞動員

軍及主要産業ノ勤勞不足人員ニ付邦人ノ一部ヲ徵用シ勤勞總結集

ノ實ヲ擧ケツツアリ

四 華人勞務者内地移入

北海道及九州北部ノ勞力不足補充ノタメ日華勞務協會ヲシテ華人

勞務者(石炭及港灣荷役)一、七五〇人(内二五〇人俘虜)ヲ内

地ニ移入ヤシメタリ(九月)

第二節 理財課關係

第一項 從來ノ主要ナル業務概要

一 中央儲備銀行關係

(一) 儲備券ノ價值維持政策

(二) 儲備券ノ増發狀況

(三) 儲備券現札不足狀況

(四) 儲備券現地印刷狀況

(五) 儲備銀行對正金銀行預ケ合關係

(六) 紙幣運輸許可事項

二 重慶平衡資金關係

三 淮海省通貨調整

四 國民政府ヨリ委託ヲ受ケタル本邦側ニ對スル舊幣供給承認事務

五 金市場操作狀況

六 中支ニ於ケル我方爲替管理

七 中支ニ於ケル爲替集中制ニ關スル件

八 對各地域クレヂット設定

九 華僑送金狀況

十 農畜產物資蒐買資金ノ調達方法

十一 本邦銀行ノ監督

十二 日支金融機關ノ貸出調整

十三 信託會社ノ業務

十四 保險會社ノ業務

十五 華商證券取引所ノ狀況

十六 中央儲蓄會ノ狀況

十七 中國側金融機關ノ統制

十八 中國海關輸入稅改正ニ關スル件

十九 中支對滿洲國向計畫交易物資ノ輸入手續簡捷化ニ關スル件

二〇 訓修料積立會處理ニ關スル高價

二一 會社經理統制狀況

二二 國債消化、貯蓄奨励ニ關スル件

二三 中支物價概況

第二項業務ノ現況ヲ明瞭ナラシムベキ資料

一 籌備券發行高、附籌備券現札受人狀況

二 籌備券發行高地區別調

三 籌備券發行高ト預ケ合使用高トノ關係

四 預ケ合使用狀明顯

五 國庫券支拂總額月表附政府貸上命受人額

六 物價關係

一 籌備券發行高ト物價トノ關係

二 上海ヨリ生活必需品物價指數調

三 主要商品上海卸賣價格調

四 中央籌備銀行資産負債表

五 中央籌備銀行爲替取高表

六 命令賣却換作實績調

七 降折院地區貨幣供給額調

八 日本側銀行預金貸出高表

九 中國側銀行預金貸出高表

十 爲替許可額調

十一 日本向送 許可實績調

十二 中支ニ於ケル各種調査料積立 相在高表

十三 上海海關稅收入實績表

十四 損害保險會社收支調

十八 生命徴兵保険月別收支論

第三項 重要事項ニ關スル將來ノ方針及對方針等論

一 儲備金ノ今後ニ於ケル増減及増減トシテ之カ價值維持等論

二 爲替資金ノ中央儲備銀行集中ニ關スル件

三 損害生命保険ノ整理統合

四 生産工業ニ對スル命令融資

五 物價抑制策

第二節 理財課關係

第一項 從來ノ主要ナル業務概要

一、中央儲備銀行關係

(一) 儲備券價值維持對策

一、儲備券ノ本年十一月末現在ニ於ケル發行高ハ一〇七一七二
百萬元ニシテ前年同期ニ比シ九六八五四百萬元ノ増加ヲ示
シ居レル處之カ主因ハ我方政府資金ノ放出、並ニ對日、對
北支、滿州、供給物資調達ノ爲、資金放出ニ依ルモノト認
メラル

二、儲備券ノ價值維持ハ國民政府ノ中央儲備銀行ノ責任ト創意
ニ於テ實施セラレベキモノナル處ナルモ日本側ノ使用ニ依
ル増發ノ相當多量ニ上リ居ル現狀ナルヲ以テ我方ニ於テモ
全面的ニ之ニ協力シ來レリ

三、儲備券價值維持ノ爲ニハ政府的ニハ國民政府ノ強化ヲ計
シ、特ニ汪主席ノ逝去ニ依ル政府政治力ノ動搖ヲ防止スル共ニ
中央儲備銀行ヲ強力ニ指導シ之カ強化ヲ計ルト共ニ國家銀
行トシテ中國側金融機關ニ對スル統制力ノ增強ヲ計リ一方

(二) 儲備券増發狀況

一、發行高ノ推移

本年當初以來ノ儲備券發行高ハ推移ヲ見ルニ昨年末一九一
億元ニ止マリシ儲備券發行高ハ本年上半年中ニ一九二億元
ノ増發トナリ續々六ヶ月間ニ倍加ヲ見タルガ更ニ八九九十二
月ト逐月増發高ハ益々増シ十一月中ノ如キ一月ニ二三一
億元ノ放出ヲ餘額ナクセラレタルヲ以テ十一月末發行高ハ
一〇七一七三百萬元ニ達シ年初來ノ増發高ハ八八〇二三三
萬元ト昨年同期間ニ於ケル増發高ニ比シ約六倍ニ達スルニ
至レリ

今年初來ノ推移ヲ概観スルニ年初ニ於テハ米、棉花ノ購買
資金、舊正決濟資金ノ放出アリタルモ一方歳末決濟資金ノ
還流アリ二月ニ入りテハ舊正決濟資金ノ回還額メテ還額ナ

貸出抑制、收買資金ノ調整消費規正等ニ依リ資金放出ヲ抑
制シ他方金及金製品ノ市中賣却、買上綿糸布ノ市中賣却、
中央儲蓄會ノ福利獎券ノ増額發行、儲蓄勸奨ノ徹底等諸關
一致協力之カ價值維持ヲ計リツツアリ

二、發行増加ノ理由
 幣制整理行爲方昨年ニ比シ前記ノ如ク著大ナル増進ヲ見タ
 ル理由ヲ要約スルニ
 一、一、波物價ノ昂貴等シク爲ニ引致シ貨幣生活所運賃率ノ
 二、發行増加ノ理由
 幣制整理行爲方昨年ニ比シ前記ノ如ク著大ナル増進ヲ見タ
 ル理由ヲ要約スルニ
 一、一、波物價ノ昂貴等シク爲ニ引致シ貨幣生活所運賃率ノ

- 需要増進高セルコト
 2 養育物産増進シク昂貴シタル爲之方所運賃率著大ニ
 ルコト
 3 四月河内作戦ノ開始ニ引致シ兵隊糧食ノ大作戦運賃率著
 州陸州ニ於ケル軍事行動ニヨリ輸送運賃ノ著大ナル増進
 4 陸軍省へノ備前寺ノ進出及後援物資へノ流出増進ニ依リ
 備前寺統帥部及ノ相違著大セルコト
 5 物價急騰ノ原因下ニアルヲ以テ正當ナル貨幣率ノ騰貴ハ固
 然ニシテ、爲ニ備前寺ノ可憐等ヲ以テ低價ニシテ貨幣率ハ統
 二、郵政ニ滞留セル事
 6 陸軍省著大セルコト
 7 陸軍省著大セルコト
 8 陸軍省著大セルコト
 9 陸軍省著大セルコト
 10 陸軍省著大セルコト
 11 陸軍省著大セルコト
 12 陸軍省著大セルコト
 13 陸軍省著大セルコト
 14 陸軍省著大セルコト
 15 陸軍省著大セルコト
 16 陸軍省著大セルコト
 17 陸軍省著大セルコト
 18 陸軍省著大セルコト
 19 陸軍省著大セルコト
 20 陸軍省著大セルコト
 21 陸軍省著大セルコト
 22 陸軍省著大セルコト
 23 陸軍省著大セルコト
 24 陸軍省著大セルコト
 25 陸軍省著大セルコト
 26 陸軍省著大セルコト
 27 陸軍省著大セルコト
 28 陸軍省著大セルコト
 29 陸軍省著大セルコト
 30 陸軍省著大セルコト
 31 陸軍省著大セルコト
 32 陸軍省著大セルコト
 33 陸軍省著大セルコト
 34 陸軍省著大セルコト
 35 陸軍省著大セルコト
 36 陸軍省著大セルコト
 37 陸軍省著大セルコト
 38 陸軍省著大セルコト
 39 陸軍省著大セルコト
 40 陸軍省著大セルコト
 41 陸軍省著大セルコト
 42 陸軍省著大セルコト
 43 陸軍省著大セルコト
 44 陸軍省著大セルコト
 45 陸軍省著大セルコト
 46 陸軍省著大セルコト
 47 陸軍省著大セルコト
 48 陸軍省著大セルコト
 49 陸軍省著大セルコト
 50 陸軍省著大セルコト
 51 陸軍省著大セルコト
 52 陸軍省著大セルコト
 53 陸軍省著大セルコト
 54 陸軍省著大セルコト
 55 陸軍省著大セルコト
 56 陸軍省著大セルコト
 57 陸軍省著大セルコト
 58 陸軍省著大セルコト
 59 陸軍省著大セルコト
 60 陸軍省著大セルコト
 61 陸軍省著大セルコト
 62 陸軍省著大セルコト
 63 陸軍省著大セルコト
 64 陸軍省著大セルコト
 65 陸軍省著大セルコト
 66 陸軍省著大セルコト
 67 陸軍省著大セルコト
 68 陸軍省著大セルコト
 69 陸軍省著大セルコト
 70 陸軍省著大セルコト
 71 陸軍省著大セルコト
 72 陸軍省著大セルコト
 73 陸軍省著大セルコト
 74 陸軍省著大セルコト
 75 陸軍省著大セルコト
 76 陸軍省著大セルコト
 77 陸軍省著大セルコト
 78 陸軍省著大セルコト
 79 陸軍省著大セルコト
 80 陸軍省著大セルコト
 81 陸軍省著大セルコト
 82 陸軍省著大セルコト
 83 陸軍省著大セルコト
 84 陸軍省著大セルコト
 85 陸軍省著大セルコト
 86 陸軍省著大セルコト
 87 陸軍省著大セルコト
 88 陸軍省著大セルコト
 89 陸軍省著大セルコト
 90 陸軍省著大セルコト
 91 陸軍省著大セルコト
 92 陸軍省著大セルコト
 93 陸軍省著大セルコト
 94 陸軍省著大セルコト
 95 陸軍省著大セルコト
 96 陸軍省著大セルコト
 97 陸軍省著大セルコト
 98 陸軍省著大セルコト
 99 陸軍省著大セルコト
 100 陸軍省著大セルコト

儲備券現札ニ付テハ本年四月種々ノ理由ニ依リ東京ニ於ケル印刷ガ急激ナル低下ヲ示シ六月中央迄殆ンド改善ヲ見ザリシ一方四月六月ニ於テ臺灣、非鐵金團等重要物資ノ蒐買資金並ニ軍需物資ノ需要適合シ愈々巨額ノ發行ヲ必要トスルニ至リ爲ニ當地ニ於テ現札ノ需給均衡ヲ破リ重大事態招來ノ危局ニ達セ

即チ三月末ニ於ケル儲備銀行各分支行ノ手持狀況ハ上海分行五十三億元全店舖ニ於テ總額百六億元ノ現札ヲ保有シ居リタルガ四月ヨリ六月中旬迄ノ東京現送受入五十六億元、上海、香港印刷受入三億元ニ對シ同期間ニ於ケル儲備券増發高ハ百十四億元ニ上リ爲ニ六月中旬末現札保有高ハ上海十億元、全店舖ニ於テ僅ニ五十一億元ニ激減セリ

依リ我方ニ於テハ儲備銀行顧問其ノ他關係方面ト緊密ニ連絡ノ上

(1)東京印刷ノ増進輸送陸路ノ打開等百方ヲ講シタル一方(2)通貨放出抑制ニ付テモ能フル限リノ努力ヲ拂ヒ五月十九日以降在上海日本銀行ノ奧地向送金及儲備銀行ヨリノ現札引

出ニ付管所ノ承認ヲ要スルコトトシ榮種、非鐵等軍必要物資ノ蒐買ニ付テモ現札ノ狀況ト混ミ合セ之カ繰延ヲ行ハシムルト共ニ

(1)中國側ニ付テモ儲備銀行ヲシテ中國銀行商社ノ奧地向送金ニ規制措置ヲ講ジシメ危局切抜ニ努力ヲ傾注セリ

然レドモ儲備券ノ需給ハ日ト共ニ緊張シ右各邊ノ措置ヲ以テシテ亦現札不足ノ危境行頭ハ到底因時ナリタルヲ以テ國民政府トモ遠途ノ上六月二十四日ヨリ遂ニ五百元券ヲ發行シ急場ヲ覆グコトトセリ

幸ニシテ六月中央ヨリハ東京ニ於ケル印刷モ漸ク増大シ又之カ輸送ニ付テモ七月ニハ陸軍特別送給ノ確保ヲ得臨詞ヨリノ空襲ヲ活潑化シタルト大陸側ニ現送ヲ開始シ万策ヲ講ジ現札補給ニ努メタル結果九月末ニ於テハ上海七十二億元全店舖合計百五十三億元ノ手持ヲ得暫時小康ヲ保ツニ至レ

然レドモ十月以謝ニ於テ棉花雜穀ノ收買漸ク開始シ更ニ其ノ他ノ重要物資ニ付テモ逐月ノ繰延ニ依リ相當量引續キ放

印刷力ヲ計算シ之ガ結果ヲ行フモノトス
一 五百元券

同紙 壹 四版一両、凸版一両
同紙 貳 陸版二両
同紙 參 陸版二両、印字ヲ加刷ス
同紙 肆 月三千五百萬分(日七十五萬分)
同紙 伍 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)

同紙 陸 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 柒 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 捌 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 玖 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 拾 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)

二百元券

同紙 壹 四版一両、凸版一両
同紙 貳 陸版二両
同紙 參 陸版二両、印字ヲ加刷ス
同紙 肆 月三千五百萬分(日七十五萬分)
同紙 伍 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)

同紙 陸 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 柒 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 捌 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 玖 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 拾 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)

同紙 壹 四版一両、凸版一両
同紙 貳 陸版二両
同紙 參 陸版二両、印字ヲ加刷ス
同紙 肆 月三千五百萬分(日七十五萬分)
同紙 伍 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)

同紙 陸 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 柒 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 捌 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 玖 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)
同紙 拾 月三千五百萬分(日七十五萬分) 大判(十二兩卷) 三百二
十一萬分(八二)

曰インキ 五百元券ニ同ジ
紙ノ色ハ決定ハ現地之ヲ爲ス
右ニ關シテハ非常紙百元券ノ用紙ノ結果ノミナルニ付用
紙ノ供給ヲ得次ニ英米トラスト印刷工場ニ於テ印刷ヲ期
シシ得ル状況ニアリ

四十元券、一元券
十元券ハ英米トラスト印刷工場ノ能力ニテ一元券ハ中央
銀行行請即印刷工場ノ能力ニテ印刷スルモノトス
國幣發行所正金發行所ノ合議案

一、便用状況
日本銀行所屬舊幣券ノ購辦ニ付テハ昭和十七年八月十日
契約ノ中央銀行發行所正金發行所ノ合議案ニ基キ日
本銀行舊幣券ノ預ケ合ニ依リ之カ供給ヲ受ケ居レル現
在十一月末現在ニ於ケル預ケ合實額使用額ハ八五七
四二五萬元ニ達シ向來ニ於ケル舊幣券發行高ノ九割
以上ヲ占ムル状況ナリ

二、改訂

預ケ合ノ運用ニ付テハ日本銀行所屬舊金ノ明細且現銀ナ
ル朝鮮ヲ計ルト共ニ中央銀行ノ現銀モアリ預ケ合ニ依ル
舊金ノ購辦電報ヲ送付巴ムノ事ザルモノ一應金運送
（一）運送スルト共ニ在在倉庫ノ預ケ送付中ノ現銀ニ於テ
將定用途ノ爲帝國內支應ニ要スル舊金ノ範圍内ニ於テ
ハ日本銀行ノ現銀使用ヲ認メ帝國內支應リ又ハ借入金ハ
將來舊幣券ヲ以テモ支應スルモノトナシ舊金運送アリ
（二）預ケ合會社其ノ他諸國ノ貸付金割ニ付テハ同行ノ
現銀運送ヲ認メシ借付金割ニ付テハ現銀運送ニ據り引上
ノ爲メ運アルヲ以テ本年五月以來中央トモ打合ノ上給
與之ヲ改訂方針現中ノ現銀運送ハ十一月十三日開始ノ運送ニ至
リタリ

六、紙幣運送許可事項

紙幣運送ニ付テハ昭和十六年七月一日公布ノ國民政府法
運送紙幣條例法ニ遵據スルコトナリ居レル處本邦領ニ
於テモ之ニ準力スル爲財政局下規定ノ上本邦領地方新舊
法幣各五萬元以上ヲ均等スル場合ニ於テハ之カ紙幣運送

許可申請ハ... 所ニ於テ... 所長ノ... 證明書ヲ...
付添... 再行... 中央... 備... 行上海分行ニ...
シ正式ニ... 下... ケシメ... 備... 行... 支...
...

本件ハ... 取... 大ナル... アルヲ以テ...
... 行... 出... 化... 計...
... 行... 兵... 又ハ... 備...
... 行... 備... 行... 備...
...

二 軍平... 備... 備...
一 軍平... 備... 備...
... 備... 備... 備...
... 備... 備... 備...
...

軍平... 備... 備...
... 備... 備... 備...
... 備... 備... 備...
... 備... 備... 備...
...

一 軍平... 備... 備...
... 備... 備... 備...
... 備... 備... 備...
... 備... 備... 備...
...

7

一、軍費削減高 軍費 七四〇、三六九、〇三、八四
 二、軍費削減低 軍費 〇、七九二、三三九、七三二
 三、軍費削減高 軍費 二、五三、六四二、九五二
 四、軍費削減低 軍費 二、二七、八二、八六六
 五、軍費削減高 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 六、軍費削減低 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 七、軍費削減高 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 八、軍費削減低 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 九、軍費削減高 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 十、軍費削減低 軍費 一、五二、三九九、五七三、五

本會金納額三件と同致電票三付ヲハ、昭和十九年十月一日以前
 ノ受人電票ハ日本銀行代通手前正ノ通シ儲蓄券ト交換スルコ
 ト下ノ重要事項ニ付軍票ヲ日本銀行ニ送付シ、昭和十九年十月一日
 以前に發行出來高ニ付軍票ヲ日本銀行ニ送付シ、上振替爲替持券
 中納定ニ付シ、儲蓄券持券ト受渡トスル旨、出合ヲ求ムル
 コトトスル

三、海軍軍費削減高
 (一) 海軍軍費削減高 軍費 七四〇、三六九、〇三、八四
 (二) 海軍軍費削減低 軍費 〇、七九二、三三九、七三二
 (三) 海軍軍費削減高 軍費 二、五三、六四二、九五二
 (四) 海軍軍費削減低 軍費 二、二七、八二、八六六
 (五) 海軍軍費削減高 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 (六) 海軍軍費削減低 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 (七) 海軍軍費削減高 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 (八) 海軍軍費削減低 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 (九) 海軍軍費削減高 軍費 一、五二、三九九、五七三、五
 (十) 海軍軍費削減低 軍費 一、五二、三九九、五七三、五